

JR東海労ニュース

No. 880

2006年11月24日

JR東海労働組合

**教育再生会議・委員葛西会長の下で異常な状態が続く！
イジメはやめろ！と声を上げよう！**

今「イジメ」が社会的に問題となっています。その「イジメ」が教育再生会議・委員でもある葛西会長のお膝元で横行しています。教育基本法が変えられようとしている今、このJR東海の異常な職場実態が社会化されるのではないかと私たちは危惧しています。

ある乗務員職場では、「主任としての仕事」として、管理者が乗務報告書のその他欄に「指示だ、とにかく何か書け」と社員に押し付けています。「報告事項があれば書くが、ないので書きようがない」という社員に対しては、「業務指示違反」と言って追及します。中には、添乗時や訓練時の指摘事項を報告書へ記載しろと、それこそ支離滅裂で異常な暴言、威圧を行う管理者もいます。また、別の乗務員職場では、乗務を外され日勤に指定された社員が、管理者によってトイレにまで付き添われ監視をされるといふ人権侵害行為が行われました。このようなものは氷山の一角でしかありません。これらはまさに「イジメ」そのものです。社員は「ストレス」による病気が増加し、死亡にいたる社員も少なくありません。

このような会社の実態を生み、そしてそれを掌握しているのが会長でもある葛西教育再生会議・委員なのです。「マッカーサーは軍隊に民主主義はないといったが、経営にも民主主義はない」「経営と軍隊は似ている」(正しい日本を創る会での葛西会長の講演)と言っている程の方が、いったい教育再生会議で何をしようとしているのか。子供たちの未来をどうしようとしているのか。恐ろしい限りです。

私たちJR東海労は、このような現状を許しません。安全で明るい職場をつくるために、子供たちの未来を破壊させないために奮闘します。

社会問題化されている「イジメ」が今も横行！